

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 26日

事業所名 こどもプラス小祿教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2	2	・運動スペースと学習スペースを分けている。	・放デイの児童に対しては、運動するスペースは小さいと感じる時があり、次年度より、放デイの利用児童も増えるので、人数に応じたスペースの使い方を行っていきたい。
	2	職員の配置数は適切である	1	2	5	・日によって変わるが、職員の休みが被った時は少なくなる事もあり、送迎や活動を工夫して対応している。	・4月より、職員を増員予定。利用児童の増加に伴い、職員の人数も増やしていきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	1	6	・児童が飛び出してしまった時の事を考えスロープを封鎖し使えなくしている。	・今後、今の設備では配慮が足りない状況になれば、その都度改善を図っていく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0	0	・朝礼、昼礼、終礼などで1日の振り返りを行っている。 ・各職員が意見を出し合っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	0	・活動の中に学習やSSTなども取り入れている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1	0	・毎年ホームページに掲載している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2	2	・第三者評価機関ではないが、相談員や見学者を積極的に受け入れている。	・今後も評価結果を元に、業務改善に努めていく。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1	0	・療育に必要な参考書を購入し、月に2、3回は動画研修を行っている。	・今後、事業所内で療育の勉強会を開催出来るように検討していきたい。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	0	・ニーズを確認し、保護者と児童のバランスを取りながら作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	1	・マニュアルのものを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	0	・1日の活動計画を2人で担当している(ローテーション)。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1	0	・日々の活動(運動)も各担当が行う。 ・ローテーションで各職員が運動遊びを提供している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	6	0	・職員の人数と利用児童の人数で活動内容を変更し、対応を行っている。 ・流れを決めて、やる事と目標を確認している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	3	0	・児童の人数や特性に応じて決めている。	・今後、利用人数が増えるので、職員間で再度活動の内容を確認し放課後等デイサービスの計画を作成していきたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	2	0	・イベントや行事の時は話し合っ決めていく。	・今後も全員が事前に活動や支援の内容・役割を把握出来るように情報共有していきたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	0	・終礼にてその日にあった出来事を共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0	0	・達成しているかどうかも含め、見直しなども行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	5	0		・改めてガイドラインを見直し、支援の質を上げられるように努めていく。
関係	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	4	0	・毎回、児発管が情報収集を行い参加している。	・基本、児発管が参加するが、子どもの状況に精通した最もふさわしい者も同席出来れば、参加を促していきたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	2	0	・基本的に保護者とやり取りを行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	8	0	・該当見なし。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	3	0	・次年度、小学校に進学する児童がいるので、保育所等訪問支援での様子を伝えて、スムーズな移行を目指す。	・保護者様からの要望を元に、小学校との情報共有を行っていきたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3	3	・該当児なし。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2	5	・児童発達支援センターにリーフレットを置いてもらい、療育が必要な児童に対して情報提供を行っている。	・今後は、助言や研修を通して、専門機関との連携を深めていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	1	7		・事業所外での関りはないので、今後はこのような機会があっても良い。 ・感染症の制限も緩和されてきたので、今後は交流の機会を検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	1	6		・協議会等への参加はないので、検討していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1	0	・送迎での申し送りやモニタリング会議等で情報共有を行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	0	5	・必要に応じて情報提供は行っている。	・職員間でペアレントトレーニングについての知識を深め、保護者様に対して家族支援の充実を図るようにしていきたい。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	0	・児発管がしっかり説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	0	・質問や相談等があった場合、調べて有用な情報を提供している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	0	7		・今後、保護者会の開催を検討し、保護者同士の連携を支援出来るように努めていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	0	・電話やLINE等を使用したり、直接ご家族にお会いして迅速に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	0	・月の始めにおたよりを発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	7	0	1	・個人情報を持ち出ししないように気を付けている。	・取り扱いの注意は常に行っているが、不安な時もあるので、その時は改めて職員間で個人情報の取り扱いのルール確認を行っていく。情報漏洩のないように今後も個人情報の取り扱いには十分注意していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	0	・言葉選びや伝え方を工夫している。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	1	7		・地域住民との交流はほとんどないため、今後は地域住民との交流を図れるよう、イベント等を検討していく。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	3	0	・各マニュアルを作成し、すぐに確認出来るようになっている。	・緊急時の対応や不審者が現れた時の訓練等を検討、実施していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	0	・年に2回避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	2	0	・定期的実施している。	・今後も事業所内での虐待防止に関する研修機会を設け、虐待防止に対する理解を深めていきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	3	・必要性やどんな場面の時にやむを得ず必要か話し、必要な児童には記載するようになっている。	・現在、拘束が必要な児童はいないが、今後必要になるようであれば、放課後等デイサービス計画に記載し内容を職員と共有して児童への対応を行っていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	3	・おやつクッキングの時に配慮している。	・医師の指示書はなく、ご家族からの情報を元に今後対応を行っていく。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	0	・都度報告書を提出し、ミーティングでも振り返りを行っている。 ・事例集を作成し、共有している。		